

「その他」の事例

相談事例① 障がい種別：肢体不自由、

（ご本人からの相談）

タクシー会社に日曜日の予約をしようと電話をしたが、断られました。障がい者だから断られたと感じています。障害者差別でしょうか？

対応⇒ 予約をしたときのやり取りの詳細を伺いました。日曜日は人手が足りないという理由で断られたとのこと。相談者からの希望でその時の状況をタクシー会社に確認すると、日曜は人手が足りず、予約時間に行けない可能性があるため予約は受けていないと返答があり、障がい者に対する差別ではないことを確認しました。

相談事例② 障がい種別：肢体不自由

（ご本人からの相談）

市町に申請した手続きがなかなか進んでいないようです。
何か月も待たされているのはなぜでしょうか？

対応⇒ 相談者からの話を聞かせていただきました。当該市町からの説明に納得ができない様子だったので、了承を得て相談員から当該市町に確認しました。
必要な書類がそろっていないことなどが理由で手続きが遅れていましたが、手続きが整ったので決定通知を送りますとのこと。
当該市町の説明を相談者に伝えて納得いただきました。

相談事例③ 障がい種別：肢体不自由

(ご本人からの相談)

小さい頃の病気が原因で障がいが残りました。

薬を服用しながら、無理をしない程度で仕事をしていますが、体が不自由なことなど家族に理解されず、「あれもこれもできない」と言われ辛い思いをしています。

自身の存在意義が分からず自殺を考えたこともありますが、今の職場は障がいに対する理解があり助かっています。

今後は1人暮らしをしたいと思っています。

対応⇒ 生き立ちやご家族のことなど傾聴に努めました。

希死念慮があったとのことですが、生活が改善している様子やすでにお住まいの市町など関係機関にも相談していることなどから、今後も何かあればご相談いただくことをお願いして電話を終えました。

相談事例④ 障がい種別：不明

(ご本人からメールにて相談)

鉄道会社のHPに障がい者に関して不明確な表記があります。

身体障がいについて誤解をまねく恐れがありますので、県から改めるよう説明してください。

対応⇒ 鉄道会社のHPでご指摘の表現を確認してから相談者の了解を得て、鉄道会社に表記に関するご意見があったことを伝えました。

過去に障がい当事者団体(身体・知的・精神)などと協議のうえで表記を決めたと回答いただきました。

障がい当事者の意見が反映されていることなどを相談者に説明し、納得いただきました。